

本号を御一読いただければ、主題と症例の配置が従来号と異なることにすぐ気づかれると思う。序説で八尾らが小腸腫瘍全般における review を行い、上皮性腫瘍、内分泌腫瘍、非上皮性腫瘍、リンパ腫、腫瘍様病変の各項について、疾患概念、分類、頻度等が主題で記載され、各々の主題の後に症例が呈示されている。小腸腫瘍は比較的可能な疾患であるため、画像診断・臨床病理学的特徴が系統的に論じられることが少なかった。今回の企画のねらいは、上記の体裁をとることで単なる症例特集号となることを避け、専門医の教科書たらしめとするものである。八尾らが述べているように、疾患の頻度にこの 20 年大きな変化はな

く、診断 modality にも進歩が少なかったため、幸か不幸か“教科書”としての完成度は高いと考えている。逆に言えば相変わらず閉塞や出血などの症状が出現して初めて診断される状況も同様なわけで、やや寂しい。元々の疾患頻度が少ない以上、従来の小腸造影や小腸内視鏡を積極的に施行すべきであるとは言えまい。しかし、衝撃的であったカプセル内視鏡の出現もあり、未来の展望として新たな診断 modality が小腸検診に導入される可能性が出てきている。小腸疾患においても早期診断が当たり前の時代が来る、という予感の萌芽がある点が 20 年前と違うとあえて言いたい。

胃と腸

7月号（第36巻・第8号）予告

発売予定 7月25日
定 価 （本体 2,300 円＋税）

主題／多発食道癌

序 説	多発食道癌	都立駒込病院・外科	吉 田	操
主 題	多発食道癌の病理—ルゴール不染多発との関連	国立がんセンター中央病院・臨床検査部病理	二村	聡・他
	多発食道癌—多中心性発癌の分子生物学的検討	慶應大・外科	小澤	壮治・他
	多発食道癌の X 線学的検討	多摩がん検診センター・消化器科	細井	董三・他
	多発食道癌の診断—内視鏡を中心に	東京医歯大・外科	熊谷	洋一・他
	多発食道癌と EMR	東海大・外科	幕内	博康・他
	多発食道癌と粘膜切除	都立駒込病院・内科	門馬	久美子・他
主題研究	まだら食道の病理	大阪府立成人病センター・病理検査科	辻	直子・他
主題症例	多発食道表在癌の 1 例	佐久総合病院・内科	小山	恒男・他
	下咽頭癌治療後の経過観察中に異時性多発食道癌および胃癌の発生を認めた 1 例	国立がんセンター中央病院・内視鏡部	藤城	光弘・他
	2 か所に同時多発を認めた食道扁平上皮癌の 1 例	早期胃癌検診協会	山田	弘徳・他
	表在型食道扁平上皮癌に合併した類基底細胞癌の 1 例	兵庫医大・第 2 外科	藤原	由規・他

胃 と 腸 （第 36 巻 第 7 号）

編 集 早期胃癌研究会

発 行 株式会社 医学書院

代 表 者 金原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷 5-24-3

☎ 本誌編集室直通 (03) 3817-5714

FAX (03) 3815-7802 / 3815-7982

E-mail: itocho@igaku-shoin.co.jp

2001 年 6 月 25 日発行 (毎月 25 日発行)

1 部定価 (本体 2,300 円＋税) (配送料 116 円)

2001 年年ぎめ予約購読料 33,810 円

(増刊号 5,500 円を含む 13 冊) (送料弊社負担)

☎ 販売部直通 (03) 3817-5659

振替口座 00170-9-96693

印 刷 所 永和印刷 (株) ☎ (03) 3813-5001

広告取扱 文 栄 社 ☎ (03) 3814-8541

- Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 5-24-3 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2001, Printed in Japan.
- 本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権 (送信可能化権を含む) は (株) 医学書院が保有します。
- JCLIS < (株) 日本著作出版権管理システム委託出版物 >
本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に (株) 日本著作出版権管理システム (電話 03-3817-5670, FAX 03-3815-8199) の許諾を得てください。
- 医学書院ホームページ (インターネット) <http://www.igaku-shoin.co.jp> (担当) 渡辺・永安・阿野・小松原